(1) 火災件数について

本市における平成22年中の火災は120件で、前年と比べ14件減少しました。

(2) 損害額について

損害額は2億4,916万1千円で、前年と比べ9,476万円増加しました。

(3) 死者について

死者は2人で、前年と比べ10人減少しました。

死者の発生した火災の種別は、建物火災2人(いずれも住宅)でした。

(4) 出火原因について

火災の発生を原因別にみると、「放火」28件(放火の疑いを含む。)でトップを占め、次いで、「こんろ」11件(うち天ぷら油6件、グリル1件)、「たき火」11件でした。

(5) 住宅用火災警報器について

住宅火災(併用住宅、共同住宅を含む。)のうち、住宅用火災警報器が設置されていた件数は 10件でした。

住宅用火災警報器を設置していて、大事に至らなかった事案が9件報告されています。

# 平成22年 火災発生概況

			年	別								,					<b>.</b>
区台	, J		\		平	成	22	年	平	成	21	年	F	増			減
火	災	,	件	数		-	120 個	牛 (0)			134	件(	0)		-14	件(	0)
損		害		額		249,	161 =	千円		154,	401	千円		94,760 千円			
	建			物			74 f	牛(0)			86	件(	0)		-12	件(	0)
	林			野			1 1	牛(0)			2	件 (	0)		-1	件(	0)
火	車	両	自動	車	12 件	(0)	12 (	牛(0)	14 件	(0)	14	件(	0)	-2 件 (	0) -2	件(	0)
火災種	<del></del>		鉄	道	12	(0)	0 1	牛(0)	11	(0)	0	件(	0)	2    (	0	件(	0)
	船			舶			2 1	牛 (0)			0	件(	0)		2	件(	0)
	航	Ź		機			0 1	牛(0)			0	件(	0)		0	件(	0)
	そ	の	他	$\mathcal{O}$			31 (	牛(0)			32	件(	0)		-1	件(	0)
	合		計	+		-	105 柞	東			131	棟			-26	棟	
焼	全			焼			14 柞	東			20	棟			-6	棟	
焼損棟	半			焼			14 柞	東			11	棟			3	棟	
数	部	5	}	焼			27 柞	東			40	棟			-13	棟	
	ぼ			Þ			50 柞	東			60	棟			-10	棟	
建华	勿焼	損	床 面	積		2,9	981 r	'n		2,	179	m²			802	m²	
建华	勿 焼	損	表 面	積		2	290 r	n²			225	m²			65	m²	
林	野焼	连推	面	積			7 a	ι			6	a			1	a	
人的	死			者			2 ,	<del>ا</del>			12	人			-10	人	
被害	負	侈	夢	者			13 ,	<del>ا</del>			32	人			-19	人	
り	合		計	+			69 †	世帯			91	世帯	ŕ		-22	世帯	
災世	全			損			25 †	世帯			19	世帯	ŕ		6	世帯	
帯	半			損			7 †	世帯			6	世帯	ŕ		1	世帯	
数	小			損			37 †	世帯			66	世帯	ř		-29	世帯	
り	災	J	\ J	/шг			141 ,	人			227	人			-86	人	
1	出	火	件	数		0	.33 🖡	牛		(	0.37	件			-0.04	件	
日平	損	흼	Ē	額		(	583 =	千円		-	423	千円			260	千円	
均	建物	焼損	具床面	i積			8.2 r	'n			6.0	m²			2.2	m²	
火災	1件当7	こり平	均損害	<b>手額</b>		2,0	076 =	千円		1,	152	千円	İ		924	千円	
建物步	大災1件	当たり	焼損床	面積			40 r	n²			25	m²			15	m²	
出火:	率(人口	11万	人当た	_り)		3	.25 亻	牛			3.62	件			-0.37	件	

※ ( )内は爆発件数

# 原因別火災発生状況

		-		1100													
<b>人</b> 原	5月月	_	月月	}i]	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合				計	120	12	6	8	12	8	8	15	16	5	11	8	11
た		ば		Ĺ	10	1		1	1	1	1	1		1	2	1	
Ţ		$\lambda$		ろ	11		1	1	1			2			3		3
	コン	ロの	)内天ぷ	ら油	6		1					2			2		1
	こん	ろ	の内グリ	リル	1			1									
カゝ	,	ま		ど													
風	呂	カュ	ま	ど													
		炉															
焼		却		炉													
ス	7		_	ブ	1			1									
IJ		た		つ													
ボ	イ		ラ	_													
煙	突	•	煙	道	1					1							
排		気		管	2	1						1					
電	気		機	器	2								1			1	
電	気		装	置	3						2	1					
電	灯・電	話	等の配	1線	3	1						1	1				
内	燃		機	関													
配	線		器	具	8	2			1	1	2		1				1
火	あ		そ	び	5			1	1						2		1
マ	ッチ	• =	ライタ	_	1	1											
た		き		火	11	1	2	1	1			2	2			1	1
溶	接機	•	切 断	機	4					1					1	2	
灯				火	1							1					
衝	突	Ø	火	花	2	1		1									
取				灰	1		1										
火		入		れ	1						1						
放				火	26	2	2	2	5	3		2	6	1			3
放	火	0)	疑	ζ,	2							1			1		
そ		0)		他	15	1			2	1	2	2	2	1	1	2	1
不	明・	•	調査	中	10	1						1	3	2	1	1	1

## 被災住宅における住宅用火災警報器等設置状況

						_		
		#	†況	設置あり			設置なし	設置不明
用途	別			以 旦 の ソ	作動あり	作動なし	敗垣なし	<b>以</b> 直尔列
住			宅	8	3	5	27	
併	用	住	宅					
共	同	住	宅	2	2		3	1

※消防法第17条による自動火災報知設備やスプリンクラー設備を設置する場合を除く。

### (1) 平成22年中の救急出場概要

#### ア 救急出場件数について

本市における平成22年中の救急出場件数は、17,962件で平成21年中(17,029件)に比較して933件増加しました。

これは、1日平均49. 2件(平成21年中は46. 7件)で、約29分に1回の割合で出場したことになります。

#### イ 搬送人員について

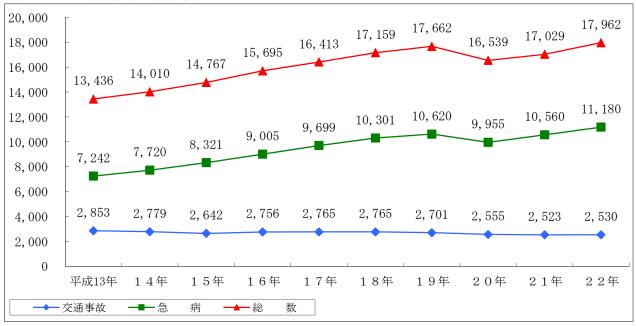
平成22年中に救急車で医療機関に搬送された傷病者は16,834人で、昨年と比べて81 8人増加しました。

これは、和歌山市民約22人に1人が救急車で搬送されたことになります。

#### ウ 救急事故種別出場状況について

救急事故種別ごとの出場状況を見ると、急病が11, 180件(62, 2%)、交通事故が2, 530件(14, 1%)、一般負傷が2, 396件(13, 3%) で全体の89, 6%を占めています。

#### (2) 過去10年間の救急出場状況



		平成13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
交通事	故	2,853	2,779	2,642	2, 756	2, 765	2, 765	2, 701	2, 555	2, 523	2,530
急	病	7, 242	7,720	8, 321	9,005	9, 699	10, 301	10,620	9, 955	10,560	11, 180
総	数	13, 436	14,010	14, 767	15, 695	16, 413	17, 159	17,662	16, 539	17,029	17, 962

#### (3) 救急業務法制化以降の救急出場件数推移状況

年 別	昭和39年	40年	41年	42年	43年	44年	45年	46年	47年	48年
出場件数	1, 373	1,871	2, 355	2,879	3, 635	4, 138	5,040	5, 876	6, 202	6, 235
年 別	49年	50年	51年	52年	53年	54年	55年	56年	57年	58年
出場件数	6, 725	6, 590	7, 112	7, 250	7, 236	7, 560	7, 916	8, 204	8, 490	8,805
年 別	59年	60年	61年	62年	63年	平成元年	2年	3年	4年	5年
出場件数	8,647	9, 214	8,660	8, 758	9,008	9, 173	9,890	9, 596	9, 705	9,891
年 別	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年			
出場件数	10, 292	11,066	10, 904	11, 126	11, 509	12, 427	13, 563			

## (4) 救急出場回数

年別	出場件数	搬送件数	不搬送件数	搬送人員				
十加	山場什級	加达什数	个颁及什数	男	女	計		
平成18年	17, 159	15, 824	1, 335	8, 265	7, 917	16, 182		
平成19年	17, 662	16, 271	1, 391	8, 506	8, 068	16, 574		
平成20年	16, 539	15, 276	1, 263	7, 958	7, 605	15, 563		
平成21年	17, 029	15, 749	1, 280	8, 227	7, 789	16, 016		
平成22年	17, 962	16, 594	1, 368	8, 623	8, 211	16, 834		

## (5) 事故別出場件数

事故種別	出場件数	搬送件数	不搬送
火災	38	11	27
自然災害	1	0	1
水難	24	14	10
交通事故	2, 530	2, 358	172
労働災害	124	123	1
運動競技	114	112	2
一般負傷	2, 396	2, 270	126
加害	133	113	20
自損行為	246	205	41
急病	11, 180	10, 398	782
その他	1, 176	990	186
合 計	17, 962	16, 594	1, 368

### (6) 傷病程度別·年齡別搬送状況(搬送人員)

(-) 1937.13 132/2/33		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,									
程度	手齢	新生児	乳幼児	7~17歳	18~24歳	25~34歳	35~44歳	45~54歳	55~64歳	65歳以上	合 計
死	亡	0	2	0	2	4	9	13	13	166	209
重	症	3	5	6	11	21	40	50	103	680	919
中等	等症	3	81	53	76	148	175	245	474	2, 967	4, 222
軽	症	6	695	633	793	955	1, 179	1,028	1, 406	4, 774	11, 469
その	の他	0	5	2	1	0	3	2	0	2	15
合	計	12	788	694	883	1, 128	1, 406	1, 338	1, 996	8, 589	16, 834

# 平成22年中の救助統計

和歌山市消防局

## 事故別出動件数

	年 別	平成 2	2 2年	平成 2	2 1 年
-	事故種別	出動件数	救助人員	出動件数	救助人員
	火 災	54	3	46	9
	交 通 事 故	89	51	65	37
	水 難 事 故	33	28	17	10
	風水害事故	1	0	12	7
火災以	機械による事故	7	4	4	2
以外の	建物等による事故	38	35	20	12
災害	ガス、酸欠事故	4	4	3	2
	破裂事故	0	0	0	0
	その他の事故	88	31	80	30
	小計	260	153	201	100
_	合 計	314	156	247	109